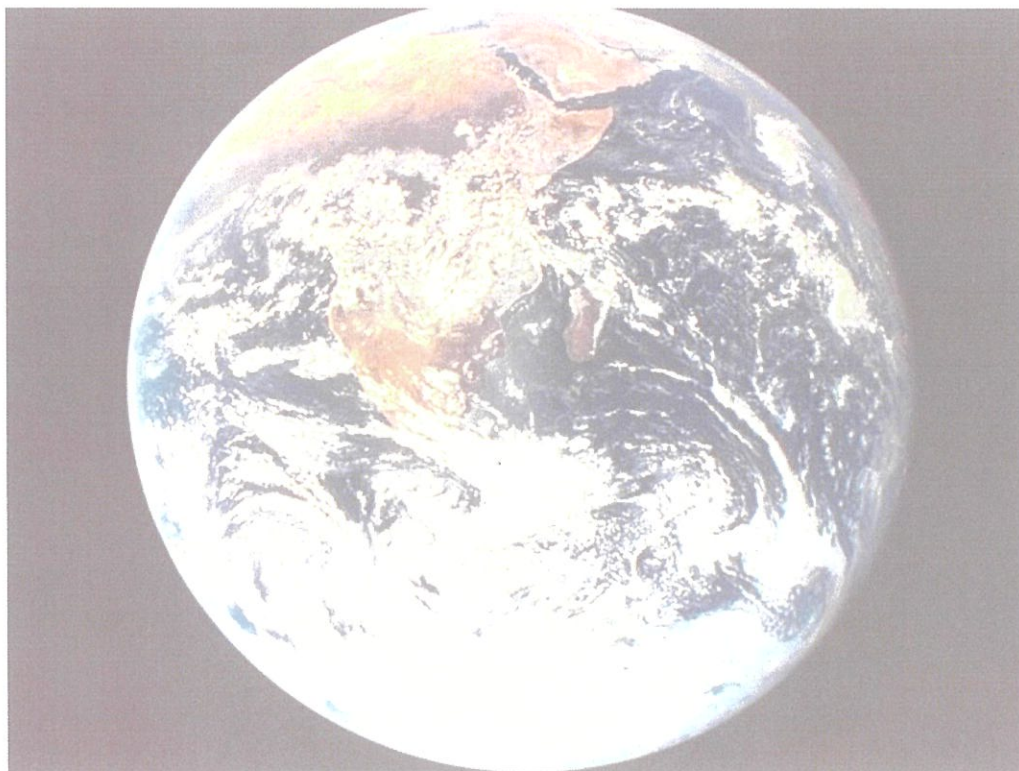


2020年 環境経営レポート

〈活動期間：2020年度：2020年4月1日～2021年3月31日〉



Power Supply

発行日：2021年 9月27日

改訂日：2021年12月27日

会社概要

- 社名 パワーサプライ株式会社（旧株式会社ニートから継承）
- 設立 平成元年12月
- 資本金 2,900万円
- 代表者 代表取締役社長 福本 幸造
- 環境管理責任者 柳川瀬 初代
- 従業員数 本社・小野工場 60名
加西工場 45名
大阪営業所（事務所） 4名
- 工場延床面積 大阪営業所（事務所）（86㎡）
本社・小野工場 5,370㎡
加西工場 8,173㎡
- 生産量 888.48トン（2020年度製品出荷量）
- 売上高 1,751百万円（2020年度）
- CO₂排出量 2,685 t-CO₂（2020年度）
- 対象範囲
事業所 本社・小野工場／兵庫県小野市匠台23番地
TEL 0794-62-0551（代）
FAX 0794-63-3172
加西工場／兵庫県加西市朝妻町1044番地
TEL 0790-47-9001（代）
FAX 0790-47-9007
大阪営業所／大阪市中央区本町2-3-8 三甲大阪本町ビル7階
TEL 06-6261-6300（代）
FAX 06-6261-6305
- 活動範囲 プラスチック製品の開発及び製造
営業品目 精密エンジニアリングプラスチック成形
医療機器用プラスチック成形
その他プラスチック成形
射出成形用精密金型の設計・製造
- 事業年度 4月～3月

パワーサプライ(株) 環境経営方針書



基本理念



当社は環境保全が永続できる環境経営システムを構築する事によって、その重要性を認識し地球環境保全に寄与できる生産体制の確立及び運用を積極的に取り組みます。
また従業員一人一人が地球環境保全の責務を負っている事を認識し、その責務を果たすシステムを構築する事によって、健全な地球環境の保持に努めます。

行動指針

- 【1】 環境関連法規制を順守する。
- 【2】 環境保全活動に数値目標を立て、実現する為に継続的改善活動を行う。
- 【3】 環境保全教育を実施し全従業員が保全活動に取り組む。
- 【4】 廃棄物の削減に取り組む。
- 【5】 排出 CO2 の管理を行い、その低減活動に取り組む。
- 【6】 購入品についてはグリーン調達に取り組む。
- 【7】 水資源利用の削減に取り組む。
- 【8】 廃プラスチックのリサイクル推進。

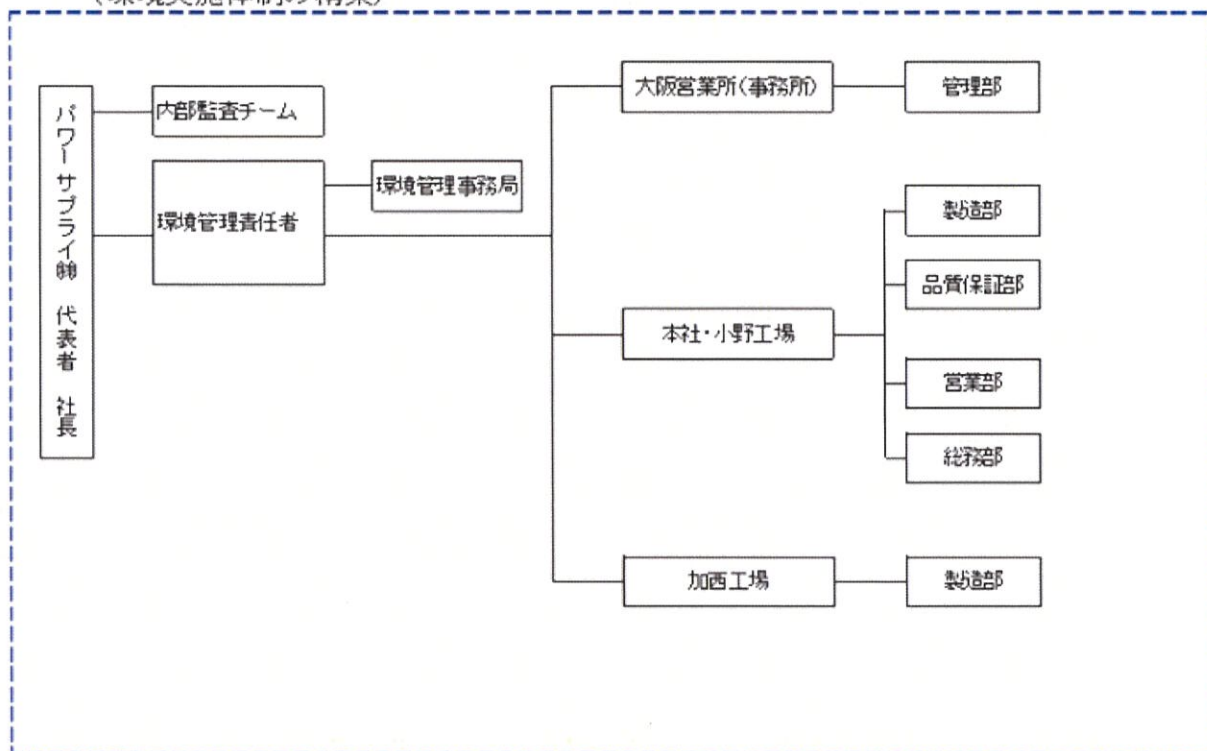


この方針書は社内外を問わず公表します。

改定:2021年4月1日
代表取締役社長
福本 幸造

パワーサプライ㈱ 環境経営システム組織図 2021年度(公開版)

(環境実施体制の構築)



※2021年4月度より、パワーサプライ㈱が㈱ニートと吸収合併の為、環境経営システム組織変更

＜環境負荷状況（実績）＞ （小野工場）

環境負荷項目		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
①	温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	2,093	1,670	2,072	1,621
②	一般廃棄物	再生利用	t	6.96	4.58	3.90	4.40
		再生利用	t	57.13	1.57	0	22.01
	産業廃棄物	熱回収	t	22.96	38.13	52.23	10.43
		廃プラ	t	13.75	31.64	46.05	5.12
		廃プラ以外	t	9.21	6.49	6.18	5.31
		最終処分量	t	0	18.8	37.83	27.52
③	水使用量	上水	m ³	5,919	4,724	4,191	5,790
④	エネルギー使用量	電力使用量	千MJ	40,303	39,141	37,627	38,058
			(万kWh)	(410.0)	(398.2)	(382.8)	(387.2)
	化石燃料	千MJ	92	72	47	41	
	ガソリン	(L)	(127)	(46)	(693)	(754)	
	軽油	(L)	(2,286)	(1,949)	(596)	(403)	
⑤	物質使用量 (プラスチック原料)	資源投入量	t	1,099	964	999	919
⑥	総製品生産量	製品生産量	t	1,025	931	969	888
		容器包装	t	115.27	123.3	154.6	198.8

注1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、「平成23年度の関西電力㈱の実排出係数の公表」を引用。

購入電力0.450 (kg-CO₂/kWh)、ガソリン2.32166kg-CO₂/L、軽油2.58 kg-CO₂/L

注2) サイト内で循環的利用を行っている物質量等はない。

注3) ⑤物質使用量⑥総製品生産量については、加西工場分を含む。

注4) 化学物質は金型の一部のメンテナンスで極少量を適正管理のもと使用。

注5) 主な電力使用は、成形機とその周辺設備、コンプレッサー等。

<環境負荷状況(実績)> (加西工場)

環境負荷項目		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	1,447	1,219	1,221	1,057	
② 廃棄物 総排出量	一般廃棄物	再生利用	t	6.77	11.25	8.25	10.97
		再生利用	t	2.44	4.06	7.8	31.9
	産業廃棄物	熱回収	t	0	11.66	13.5	16.1
		廃プラ	t	8.60	25.93	27.7	31.92
		廃プラ以外	t	0	0	0	0
	最終処分量	t	0	25.93	27.7	33.3	
③-1 総排水量	下水道	m ³	2,284	1,326	1,305		
③ 水使用量	上水	m ³	2,284	1,326	1,305	1,840	
④ エネルギー使用量	電力使用量	千MJ	27,648	25,026	24,863	25,017	
		(万kWh)	(281.3)	(254.6)	(252.9)	(254.5)	
	化石燃料	千MJ	2,645	2,591	2,730	2,688	
		ガソリン	(L)	1,363	1,106	1,017	816
		LPG	(kg)	51,750	50,843	53,685	52,979

注1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、「平成23年度の関西電力(株)の実排出係数の公表」を引用。

購入電力0.450 (kg-CO₂/kWh)、ガソリン2.32166kg-CO₂/L、軽油2.58 kg-CO₂/L

注2) 化学物質は金型の一部のメンテナンスで極少量を適正管理のもと使用。

注3) 主な電力使用は、成形機とその周辺設備、コンプレッサー等。

<環境負荷状況(実績)> (本社・大阪営業所)

環境負荷項目		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	7.00	6.70	6.32	7.05	
② 廃棄物 総排出量	一般廃棄物	再生利用	t	0.08	0.08	0.07	0.11
			(枚数)	(19,000)	(19,000)	(16,500)	(26,500)
⑤ エネルギー使用量	電力使用量	千MJ	153	148	140	140	
		(kWh)	(15,551)	(14,891)	(14,065)	(15,674)	

注1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、「平成23年度の関西電力(株)の実排出係数の公表」を引用。

購入電力0.450 (kg-CO₂/kWh)

注2) 本社の場合、テナントビル全体にて廃棄処理している為、廃棄量の管理が難しい。その為、本社の

主な廃棄物であるコピー用紙の使用枚数を管理することとしています。A4を基本とし4gで算出。また、水については、テナントビル共有で集計不可。

「産業廃棄物」「総排水量」「水使用量」「化学物質使用量」「化石燃料使用量」については、上記の事由と実績のない事より項目から削除

<環境目標> (小野工場)

項目		単位	2017年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
[1]	排出CO ₂ 量	t-CO ₂	2,093	2,062 (△1.5%)	2,051 (△2.0%)	2,041 (△2.5%)	2,030 (△3.0%)	
	①電力使用量	万kWh	410.0	403.85 (△1.5%)	401.80 (△2.0%)	399.75 (△2.5%)	397.70 (△3.0%)	
	②化石燃料使用量	千MJ	91.71	90.33 (△1.5%)	89.88 (△2.0%)	89.42 (△2.5%)	88.96 (△3.0%)	
[2]	産業廃棄物	廃プラ以外	t	9.21	9.07 (△1.5%)	9.03 (△2.0%)	8.98 (△2.5%)	8.93 (△3.0%)
[3]	水道使用量		m ³	5,919	5,830.22 (△1.5%)	5,800.62 (△2.0%)	5,771.03 (△2.5%)	5,741.43 (△3.0%)

※(△0.0%)は、削減率目標、(+0.0%)は、増加率目標

<環境目標> (加西工場)

項目		単位	2017年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
[1]	排出CO ₂ 量	t-CO ₂	1,447	1,425 (△1.5%)	1,418 (△2.0%)	1,410 (△2.5%)	1,403 (△3.0%)	
	①電力使用量	万kWh	281.3	277.1 (△1.5%)	275.7 (△2.0%)	274.3 (△2.5%)	272.9 (△3.0%)	
	②化石燃料使用量	千MJ	2,645.02	2605.34 (△1.5%)	2592.12 (△2.0%)	2578.89 (△2.5%)	2565.67 (△3.0%)	
[2]	産業廃棄物	廃プラ	t	8.60	8.47 (△1.5%)	8.43 (△2.0%)	8.39 (△2.5%)	8.34 (△3.0%)
[3]	水道使用量		m ³	2,284.00	2,249.74 (△1.5%)	2,238.32 (△2.0%)	2,226.90 (△2.5%)	2,215.48 (△3.0%)

<環境目標> (本社・大阪営業所)

項目		単位	2016年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
[1]	排出CO ₂ 量	t-CO ₂	7.65 (8.66)	7.53 (△1.5%)	7.50 (△2.0%)	7.46 (△2.5%)	7.42 (△3.0%)	
	①電力使用量	kWh	16,996 (19,244)	16,741 (△1.5%)	16,656 (△2.0%)	16,571 (△2.5%)	16,486 (△3.0%)	
	②化石燃料使用量	千MJ	-	-	-	-	-	
[2]	廃棄物	一般廃棄物	紙使用枚数/年	24,000 (26,500)	23,280 (△3.0%)	23,160 (△3.5%)	23,040 (△4.0%)	22,920 (△4.5%)
		産業廃棄物	-	-	-	-	-	

※本社の場合、テナントビル全体にて廃棄処理している為、廃棄量の管理が難しい。その為、本社の主な廃棄物であるコピー用紙の使用枚数を管理することとしています。また、水については、テナントビル共有で集計不可。2016年度にテナントビル全体で電力使用量の見直しがあった為、基準年度2015年()を2016年に変更。但し、[2]の一般廃棄物で紙使用枚数の基準年度は2012年()。

<2020年度の具体的環境活動計画>

①排出CO₂量の削減

- ・電力使用量の削減及び化石燃料使用量の削減の活動として実施する。

②電力使用量の削減

- ・節電活動の呼びかけ
- ・消費電力の異常監視・・・デマンド警報の監視徹底
- ・射出成形機の断熱による節電
- ・定期的な空調フィルター清掃
- ・手順書の説明（電力）

③化石燃料使用量の削減

- ・エコドライブ（アイドリングストップ、経済速度運転等）の取り組み
- ・燃費の良い社用車から優先に利用するための管理資料作成

④産業廃棄物最終処分量（廃プラ）の削減

- ・廃プラ削減呼びかけ
- ・再利用と廃棄の分別を徹底
- ・製品飛散の削減
- ・手順書の説明（産業廃棄物など）
- ・廃プラのリサイクル化

⑤産業廃棄物最終処分量（廃プラ以外）の削減

- ・廃棄物分別運動・・・廃棄担当者の特定
- ・紙類のリサイクル化
- ・事務用品グリーン調達運動
- ・手順書の説明（産業廃棄物など）
- ・コピー用紙節約運動・・・裏紙使用、両面印刷の徹底

⑥水道使用量の削減

- ・節水の呼びかけ
- ・現場パトロールによる指導（1回/月）
- ・冬季凍結防止対策の指導と監視
- ・減水満水警報の異常監視
- ・水質処理装置の管理徹底
- ・手順書の説明（節水）

⑦購入品についてはグリーン調達に取り組む

- ・主に文具類の新規購入の際はエコ商品を優先

2019年度より実績記載削除

<2020年度の環境目標と実績及び取組内容>

項目（単位）		目標及び実績	評価結果と次年度の取組内容	
CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	小野工場	目標： 2,062	成形機、周辺機器の更新など多数ありましたが従来機と同じ仕様でも省エネになりCO ₂ の削減が出来ました。工場用のコンプレッサー等もインバータータイプに変更など次年度以降に更新する機器も省エネ性能等も効果が期待できる機種を選定して行きます。夏季、冬季休暇などの長期機械停止の際エア漏れやクーリングタワー等も洗浄を実施し効率的な稼働をする事でCO ₂ 排出も削減出来る様に継続していきます。	
		実績： 1,621		
		達成率： 121.39%		
	加西工場	目標： 1,425		目標に対して排出量を削減する事ができました。次年度も年間の変動を監視し、削減に努めます。
		実績： 1,057		
		達成率： 125.82%		
	大阪営業所	目標： 7.53		実績値は、下記使用電力の結果となります。次年度は下記の通り。
		実績： 7.05		
		達成率： 106.37%		
使用電力量の削減 (万kWh)	小野工場	目標： 403.9	上期にCR内の成形機、周辺機を2台最新機種に変更し節電効果がありましたが受注増でCR内、CR外とも成形機を増設した為下期以降使用電力が多くなりました。次年度以降も受注が多く使用量が増える予定です。計画停止時は周辺機等の電源をOFFにするなどエア活動に勤めます。稼働数も多くなっている為目標変更等も検討します。	
		実績： 387.2		
		達成率： 104.13%		
	加西工場	目標： 277.1		社内の設備増設、生産に伴い使用量の増加しましたが、年間では目標に対して電力量を削減する事ができました。次年度も年間の変動を監視し、削減に努めます。
		実績： 254.5		
		達成率： 108.16%		
	大阪営業所	目標： 16,741		昨年からの節電を継続してきた事で削減できました。次年度は、モリマグループの事務所へ移転する為、単独集計は困難になりますので除外を予定
		実績： 15,674		
		達成率： 106.37%		
化石燃料使用量の削減 (MJ)	小野工場	目標： 90.33	社内の2tトラックの移動が加西工場は無くなり全体で使用量が少なくなっています。1.5tや社用者の会議等の工場間移動がテレビ会議等に変更等もあり削減出来ています。次年度以降は工場増設等で工場間移が増える可能性がある為経過確認していきます。	
		実績： 41		
		達成率： 154.61%		
	加西工場	目標： 2,605		新型コロナの影響で換気により空調効率悪化と想定され、目標が未達成となりました。次年度は空調効率をみながらより適切な運用を心がけます。
		実績： 2,688		
		達成率： 96.83%		
	大阪営業所	—		—
		—		
		—		

項目（単位）		目標及び実績	評価結果と次年度の取組内容
産業廃棄物（廃プラ以外）の削減（t）	小野工場	目標： 9.07	工場機器増設に伴う整理や稼働台数増加による廃棄物が増える傾向がありますが分別の更なる実施やリサイクル出来る材料の区別を計画的に実施出来ました。次年度以降の受注増で廃棄品が増える可能性がある為経過確認や分別の更なる実施をしていきます。
		実績： 5.3	
		達成率： 141.57%	
	加西工場	—	—
		—	
		—	
	大阪営業所	目標： 23,280	前年に引き続き、受注の減少による刷枚数が減少、部署内削減運動により最低限の印刷に努めている事の徹底で削減できました。次年度は、モリマグループの事務所へ移転する為、単独集計は困難になりますので除外を予定
		実績： 26,500	
		達成率： 86.17%	
産業廃棄物（廃プラ）の削減（t）	小野工場	—	—
		—	
		—	
	加西工場	目標： 13.41	目標が未達成となりました。新規設備立ち上げのため、廃棄物量の増加の為に、次年度は分別により廃棄の効率アップに取り組んでいきます。
		実績： 16.10	
		達成率： 79.9%	
	大阪営業所	—	—
		—	
		—	
水道使用量の削減（m3）	小野工場	目標： 5,830	下期以降で平均よりも水道使用量が増えています。日常点検で水漏れ等を目視確認では異常が無い為、増加傾向が続く場合は専門業者に水漏れ確認を依頼します。次年度以降でクーリングタワーから専用の冷却装置に更新する予定で、水の使用量も削減できる予定です。
		実績： 5,790	
		達成率： 100.69%	
	加西工場	目標： 2,250	水道管からの水漏れによる増加がありましたが、節水の心掛け等により、削減ができました。2021年4月には修理完了。次年度も引き続き、水漏れ等の使用量増加がないか注視いたします。
		実績： 1,840	
		達成率： 118.21%	
	大阪営業所	—	—
		—	
		—	

※達成率の計算式：

目的が削減の場合は $(1 - (\text{実績値} - \text{目標値}) \div \text{目標値}) \times 100$ 、目的が増加の場合は $(1 + (\text{実績値} - \text{目標値}) \div \text{目標値}) \times 100$ とする

＜法令遵守及び外部コミュニケーション＞

法規制の遵守

2007年1月～2021年3月

法規制等の名称	遵守すべき主な要求事項	遵守の状況
下水道法	特定事業場・特定施設の届出、排水基準の遵守、水質の測定と記録、事故時の届出	遵守
騒音規制法	空気圧縮機、送風機、液圧プレス、機械プレス等特定施設の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法		遵守
公害防止組織法	見直し中	—
悪臭防止法	トルエン、酢酸エチル等の適正処理、規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃油、金属屑等）、一般廃棄物の適正処理	遵守
グリーン購入法	出来る限り環境物品等を選択するよう努力する	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の適正な処理（業務用空調機等）	遵守
消防法	火災報知機・消火栓・消火器等の定期点検	遵守

2020年3月時点で環境関連法規への違反はありません。

なお関係当局よりの違反等の指摘及び環境上の苦情や要請などは、過去13年間ありません。

また、訴訟についてもありません。

＜環境活動の取組結果の総括評価（代表者による見直し結果）＞

総括評価：目標達成については、概ね活動の成果が出て良い結果となった。

代表者による見直し結果：

- 1) 次年度より吸収合併を行うが旧ニートの方針、経営システムは継承する。
- 2) 吸収合併による弊害が起きていないか監視は当面強化する。
- 3) 工場間や利害関係先のコミュニケーションについては、当面Web会議等を優先する事。
- 4) 活動中、安全と品質への影響に配慮した安定した活動を推進する。
- 5) 大阪営業所（事務所）が移転に伴い、活動の集計が困難な為、除外の方向で進める。

2020年12月25日

株式会社ニート

代表取締役社長 福本幸造

<連絡窓口>

当社の環境報告書に関するご意見やご質問等が御座いましたら
環境事務局 森川宛 にご連絡下さい。

<連絡先>

TEL : 0794 - 62 - 0551

FAX : 0794 - 63 - 3172

以上